



秋といえば・・・

◆秋とは暦の上では立秋から立冬の前日まで(陰暦の7月から9月まで)をいい、天文学では、秋分から冬至まで。昼が短く、夜が長くなる。この季節は涼しくさわやかで五穀や果物が実り、「秋たけなわ」「食欲の秋」などといわれる。

しかし、一方では台風や前線の影響で雨が降りやすく、「秋の空」など変わりやすいことのとえにされる。やがて木々は紅葉し、草花は枯れて、冬へ向かう。(大辞泉より)

語源としての一説は、草木などが「紅(あか)く」なるところから転じて「アキ=秋」となったと言われている。(語源辞典より)

◆最近、地球温暖化の影響による風水害や、地殻変動が原因と思われる地震による被害が世界各地で発生しています。今号は、「自然災害の驚異」と題して、地震と台風について環境情報【こぼれ話】に特集しました。是非ご覧いただきたい。

◆会社としましては、10月より創業49年目に入りました。次期は50周年となります。マイクロモーター製造を一貫して行ってきた我が社の歴史が積み重なって今があります。ISO14001並びにこのNewsも、会社の歴史に負けない様続けて参りたいと思います。これからも宜しく願いいたします。

本号のハイライト

P	項目	内容
1		秋といえば・・・
1	1	緊急事態への準備及び対応訓練について
2	2	「新・ISO14001 寄稿」 管理課：岩井課長 営業課：井出課長
3	3	10～12月に実施する事項
3～6	4	環境情報【こぼれ話】
6	5	お知らせ

配布先：A.G.S.B.C.M.D.Q.J.K.EMR,EMRs,EM 事,Ci,Kn,To,Na (17部)

1. 緊急事態への準備及び対応訓練について

・今年度も部署単位による「緊急事態への準備及び対応訓練」について検証を実施することに致しました。訓練(検証)については、9月4日に『2006年度緊急事態への準備及び対応訓練 計画及び実施記録』(文書番号:EMS-00D-203)として文書を配布/依頼し、9月内には訓練(検証)を実施していただけたかと思えます。環境マニュアル内では、「作業手順に基づいて検証する」と規定してあります。実際に訓練を実施しなくても、机上で作業手順書等を見ながら検証しても良いと言うことになっています。また、実際に検証のための訓練を実施した場合には、訓練した記録(内容)を「教育訓練記録」に記録することになっています。検証/訓練した記録類の提出をお願いします。

※緊急事態といえば・・・(少し脱線します)

近年、緊急事態といえば、『テロ』を連想すると思います。テロ事件で最も強く印象に残っているのは、5年前の2001年9月11日にアメリカで発生した同時多発テロではないでしょうか。当時ニューヨークの象徴でもありツインタワーとして有名だった世界貿易センタービルに2機の飛行機が衝突。ビルは無惨にも崩れ去った。また、アメリカ国防総省本庁舎(通称:ペンタゴン)、ペンシルバニア州ピッツバーグ郊外にも各1機の飛行機が衝突、炎上。多数の死者、負傷者、行方不明者を出した21世紀最初の最悪な事件でした。首謀者とされているイスラム教過激派組織アルカイダのウサマ・ビンラディンの消息は未だにつかめていない(死亡説もある)。

日本国内でも『テロ』事件は発生しており、1995年3月20日に発生した「地下鉄サリン事件」は、すでに10年前の事件です。オウム真理教(現・アーレフ)が起こした無差別テロで、死者12名、5500人以上が負傷した。主犯格の元教祖は死刑宣告が先日されたばかりだ。

こうしたテロ活動を防ぐために、日本では、「テロ対策特別措置法」が施行されている。大げさなことではないが、日常生活においても他人から何らかの攻撃を受けることはあるかも知れない。そうした世の中、身の回りの緊急事態をあなたはどのように対処しますか？

また、対処する術(すべ)を持っていますか？

※テロリズム【terrorism】

政治的目的を達成するために、暗殺・暴行・粛清・破壊活動など直接的な暴力やその脅威に訴える主義。テロ。

2. 新・ISO14001寄稿(第1回)

前回までの部署長からの寄稿を改題して、「新・ISO14001寄稿」としました。従業員各位からISO14001での活動状況やISOや環境について思うことなどの寄稿文を掲載して参ります。

第1回となる今号は、管理:岩井課長、営業:井出課長に寄稿していただきました。

『緊急時対応』

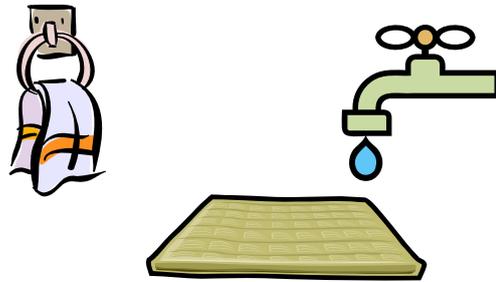
管理課長 岩井 甫

まず原稿用紙を渡されて、まさにこの事態が私にとって緊急事態である。さて頭を抱えてしまった。何を書けば良いのか。今までのISOニュースを見ると、皆なるほどと思う良い事を書いている。さて、何を書こう。「緊急事態」この言葉の意味するもの。毎日が緊急事態を抱えている。いろんな面で何が起こるか分からないその中で、以前灯油タンクのパイプが壊れて漏れる事態が発生した。幸い防油堤のおかげで、流出は免れた。同時に水抜きコックも閉められていた。

・・・以前、この水抜きコックについては、水抜き後コックを閉め忘れていて指摘されたことが有り、開いていれば大事であった。

この事例を見ても、やはり緊急時対応は事が起きてから対応するのではなく、事前に予知して対応を取っておく事が大切ではないだろうか。

仕事の中でも今までは良くても、突如発生するこれが緊急事態である。やはり毎日の中でやらなければいけない事は確実に言うと言って、ただ〇(まる)、×(ばつ)を付けるのではなく、日常点検の中で別の目でも点検を心がける様にしたものである。管理課の緊急時対応訓練の中で、『有機溶剤流出時の対応』についてウエスを使用するという事で用意してあるが、「吸着マットを用意しておいた方が良いのではないかと、別の目で見ると、これが一つの予知対応ではないだろうか。仕事の中でも同様に、「転ばぬ先の杖」ではないですけど、いろんな面で予知対応を心がけなければいけないではないでしょうか。皆分かっている事だと思いますけれど。



『身の回りを見つめよう地球温暖化』

営業課長 井出秀明

かつては太陽光線の熱が地球の外へ逃げようまく気温を調節していたが、今は「温室効果ガス」がふえて熱が外へ逃げずに地球の気温が少しずつ上昇している。このままのスピードで気温が上昇し続ければ、私たちの生活は大きな被害を受けることになる。つまり地球の温暖化が大きな問題となってきているのである。ある政府機関の研究予想によると、「21世紀末に地球の平均気温は約3度上昇し、海水面は30センチから1メートル上昇することになり、いくつかの島島や都市の低地帯では何千万人もの住民が移住を余儀なくされる可能性もある。また世界中の生態系に影響を与え、異常気象も発生すると考えられている」というわけである。

「温室効果ガス」の主力となっている二酸化炭素は、石油を燃やす火力発電からも多く発生する。また道路の舗装化が進んで地表に太陽熱がたまり、それが昼夜放出されて気温が下がらない

ことも考えられる。クーラー等の電化製品の普及による電力消費量の増加や車の排気ガスの大気汚染などなど、私たちの身の回りには地球温暖化を進める原因となるものが山積しているといってもよいだろう。

そこで改めて身の回りを見つめると、私たちにできる地球温暖化防止への営みもいくつか頭に浮かんでくる。その例をつぎに挙げてみよう。

- (1) 風呂の残り湯を洗濯用に再利用する。
- (2) レジ袋から買い物袋(マイバック)に切り替える。これは店との話し合いで。
- (3) 使い捨て電池から充電式電池に。
- (4) 冷蔵庫に詰め込みすぎより容量の大きいものへ(台所のスペースも研究)。
- (5) 生ゴミの燃焼を減らすために、畑の肥料化に努める。

私たち1人ひとりの小さな努力の積み重ねが、地球温暖化の歯止めになることを信じて1歩1歩進んでいきたいと思う。

3. 10～12月期に実施する事項

・10月～12月及び1月期に実施／活動する事項です。

月	内 容
10月	緊急事態への準備及び対応訓練まとめ 事務局定期フォロー 設備・工程の定期点検 2006年第2回定期環境管理委員会
11月	事務局定期フォロー 設備・工程の月例点検
12月	事務局定期フォロー 設備・工程の定期点検 末日／EMPのまとめ
1月	仕事始め 事務局定期フォロー 設備・工程の月例点検 ISO14001News 発行(11日予定)

※EMP＝「環境マネジメントプログラム」の略

★環境マネジメントプログラムについて

6月、9月、12月、3月の末日は、各部署における4半期毎の環境マネジメントプログラムの進捗状況をまとめ／把握して事務局へ提出するようになっていきます。

最近では、提出が全体的に遅くなっています。提出の遅延はISO活動に支障をします。期日を守って、よりよい環境活動を行いましょう。

4. 環境情報 【こぼれ話】

①自然災害の驚異Ⅰ「台風について」

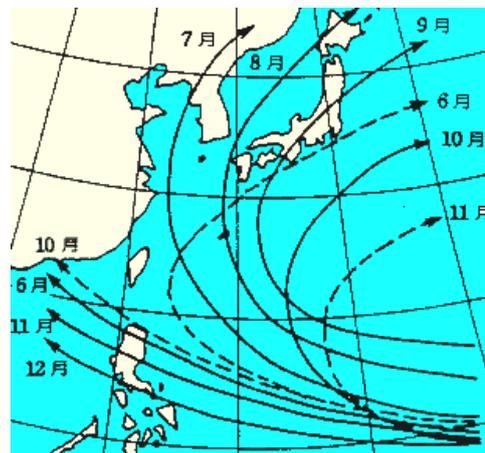
台風、颱風(たいふう)とは、太平洋や南シナ海(赤道以北、東経180度以西100度以東)で発生する熱帯低気圧で、最大風速(10分間平均)が34ノット(17.2m/s)以上のものを指す。〔古来日本では「野分」と呼称した〕

日本には、毎年10個前後の台風が接近し、そのうち3個くらいが上陸する。2004年には10個の台風が上陸し、上陸の新記録を更新した。

台風が上陸、あるいは接近すると、暴風(強風)、高潮、高波による看板や標識、樹木などの倒壊や、建物の損壊(屋根が飛んだりするなど)のほか、大雨による洪水、浸水や道路、橋などの流出、土砂崩れ、地すべりなどの被害が発生する。また、台風が上陸しなくても、時期によっては秋雨前線や梅雨前線を刺激して大雨をもたらす、これによる被害が発生することも多い。台風が日本海側を通った時接近時の日本海側や、台風が太平洋側を通った時の離れていく時の太平洋側で、台風によるフェーン現象が発生しやすく(特に前者)乾燥した熱風による火災や急激な気温上昇による雪崩なども起こりやすい。

台風は30年間(1971～2000年)の平均で年約27個発生し、昭和26(1951)年以降の台風の発生数の最多は39個(昭和42(1967)年)、最少は16個(平成10(1998)年)です。そのうち平均で約3個が日本に上陸しています。

また、上陸しなくても平均で約11個の台風が日本から300km以内に「接近」しています。上陸する台風だけが被害をもたらすわけではありません。例えば、関東地方の南(房総半島沖)を通過する台風は上陸しなくても関東地方に暴風や大雨をもたらします。



台風の月別の主な経路図

長野県は、海はないので高波、津波の心配は有りませんが、大雨による河川の氾濫、突風等の被害はあります。

この佐久地方でも、平成16年の台風23号によって河川の氾濫が発生し床下、床上浸水となった場所があります。

秋は台風の時期でもあります。昔の人は「二百十日」「二百二十日」など暦の上で台風の接近を推測していました。

※三大厄日：嵐の来襲する確率の高い日(荒日:あれび)として、八朔・二百十日・二百二十日の3日は、三大厄日として怖れられました。ちなみに八朔は旧暦の八月一日(朔日)のことです。また、二百十日は立春の日からの日数ですので、現在の暦であれば9/1(立春が2/4の場合)頃で変化しません。ただ旧暦(太陰暦)の時代は毎年月日が変わってしまうため暦注として記載して注意していたものです。

★余談ー台風にちなんで・・・映画「台風クラブ」というのをご存じでしょうか？セーラー服と機関銃など数々の映画でメガホンを取った故：相米慎二監督作品(1985年公開・配給：東宝)です。主演：工藤夕貴。共演：三浦友和、大西結花、三上祐一、尾美としのり、淵崎ゆり子 他

◆ 高校受験を控える、ある地方都市の中学3年生が台風の来襲によって恋と友情、そして生きる意味について悩み、考える・・・そんな、青春映画です

◆ 映画ロケ地は、なんと中込中学校と小海線沿線です。当時の風景が懐かしく見られます。機会がありましたら、是非ご覧になってください。レンタルしてます。

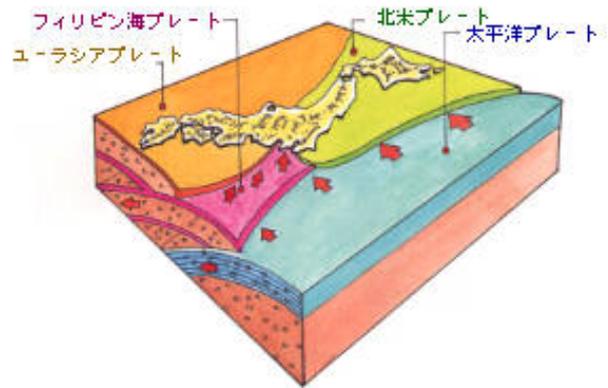
②自然災害の驚異Ⅱ「地震について」

小松左京・原作の「日本沈没」という映画をご覧になりましたか？今年、SMAP草薙剛・主演の注目作です。地殻変動(地震、火山の噴火)が原因となって日本全体が海面下に沈没するのか?・・・というSF作品です。

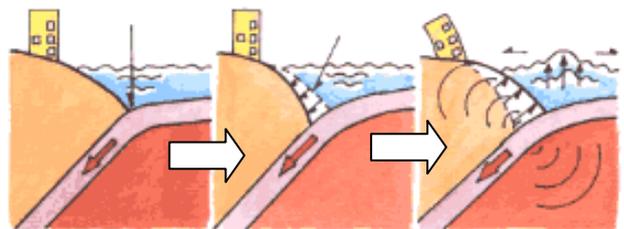
近年、地震による災害は多く、ここ数年で最も大きかったのは1995年の「阪神淡路大震災」、2004年10月の「新潟中越地震」、海外では、今年に入って数回インドネシアで発生している「ジャワ島沖の地震」、昨年10月にパキスタンで発生した「カシミール地震」などが挙げられる。日本もそうだが、地震が起きやすい地域はおおよそ決まっております(下図「1963-1998年に発生した地震の分布」参照)、その多くは大陸プレートと呼ばれるプレートの堺目付近で発生している。(右図「各大陸プレートと日本の位置関係」参照) 日本は、西日本がユーラシアプレート、東日本が北米プレート、伊豆半島部分はフィリピン海プレートの端に乗っており、プレートの移動によってフィリピン海と太平洋プレートは、ユーラシアと北米へ入り込む(太平洋プレートはフィリピン海プレートにも入り込む)ため、この移動の反動によって地震が発生する(右図「地震のメカニズム」参照)。日本は、4つのプレートが入り組む地震が起きやすい最も危険な地域と言える。

近年の地震は、「日本沈没」を予感させる様な規模の大きいものが多くなっています。東海地震もあり得るとも言われています。それが現実とならない事を願いつつ、今後の地震や地震情報には充分注意しましょう。

各大陸プレートと日本の位置関係



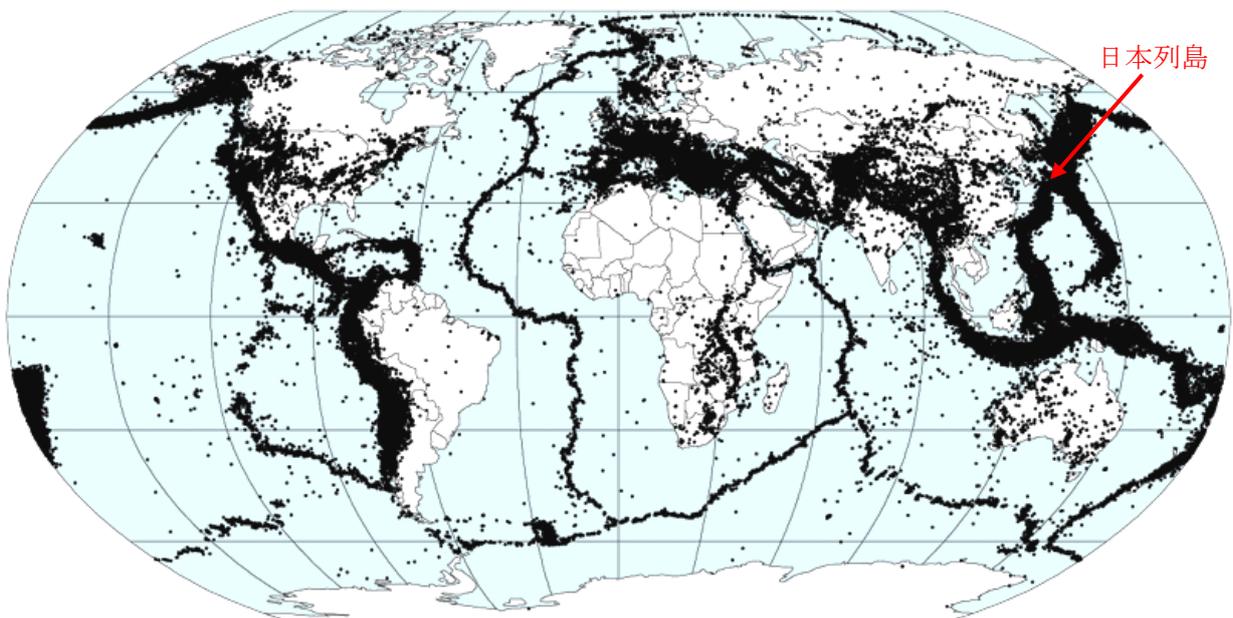
地震のメカニズム



地震は、いつ何時起きるか分かりません。もしもの為に訓練も必要ですが、万が一に備えて防災グッズなどを揃えておくのも良いでしょう。

1963-1998年に発生した地震の分布〔黒点が地震発生ヶ所〕

Preliminary Determination of Epicenters
358,214 Events, 1963 - 1998



参考資料:フリー百科事典「ウィキペディア」、気象庁

③割り箸の消費と環境問題

昼食時間、弁当を手にして、割り箸を取って……

普段目にする光景ですが、別に何の気にもせず割り箸を毎日使っています。さて、その割り箸が環境問題の原因として考えられている事はみなさんご存じでしょうか？

◆「割り箸の歴史と現状」

割り箸の日本人1人当たりの年間消費量は、約200膳とされています。(日本での総消費量は約250億膳)

割り箸は、木材の端材や間伐材などを原料としており、特に環境に悪影響を与えている様には感じません。

では、環境問題として取り上げられている理由とは何でしょうか？その前に割り箸の歴史と消費量の推移を知りましょう。割り箸は、江戸時代後期には既に登場しておりますが、現在のような割り箸となったのは明治初期といわれています。消費量も、戦後間もなくは15億膳程度の消費量だったのが高度経済成長期の1970年代には100億膳、1990年台以降は250億膳前後で推移しています。急激な消費の原因は、外食産業(ファーストフード、ファミレスなど)の発展によるものと考えられます。国内で消費される割り箸の90%は輸入品です。その内の95%近くを中国製が占める状況となっています。中国製は安価で、大量に輸入できた事から急激に割合を増やしました。また、中国製の大量生産の要因は木材の端材や間伐材などから作るのではなく、1本の木で全てを割り箸にしていることです。中国では前述した様に割り箸のために森林伐採をしています。植林などはほとんどしていないのが現状の様です。そのため、森林が減少し木材を継続的に供給できなくなる可能性が懸念されています。

◆「森林が減少することの環境への影響」を考察

森林の土中には降った雨を貯め、ゆっくりと川へ流す仕組みがあります。また、土中で雨水を濾過をしています。更に、落ち葉や枯れ枝などが堆積し、土砂、地面の崩落を防ぎ、二酸化炭素を吸収し、酸素を生成する。空気浄化や森林浴などのリラクゼーション効果もあります。

森林が無くなるという事は、前述した様な様々な効果が無くなり、雨が降ると河川が氾濫／洪水が起き、山崩れや地球温暖化などの環境影響が発生し易くなります。

◆「今できる事」とは……

中国産割り箸の輸入制限、植林を勧める……なんて我々一般人がどんなに頑張ってもすぐに出来る事ではありません。では、どんなことをすれば、割り箸から環境問題を解決できるのでしょうか？

答えは簡単。でも実行するには少し抵抗があるかも。割り箸を使わない事……つまり、「Myお箸」を持つ事。割り箸の消費量を少しでも減らす事が出来れば、それは環境保護に役立っていると考えても良いのではないのでしょうか？明日からでも、割り箸の人は、「Myお箸」に切り替えてみてはいかがでしょうか？

参考資料:東京大学学生サークル「環境三四郎」－割り箸から見た環境問題－

④鳥インフルエンザ

鳥インフルエンザは、鳥類がインフルエンザウイルスに感染して起きる病気のことです。発病するのは、ほとんどが鶏、七面鳥などの家禽類で、香港、韓国で大量に発生、日本でも2004年に京都で発生して大きな問題になりました。数々の病気を克服してきた人類にとっての最大の脅威のひとつが感染症、なかでもインフルエンザであります。ヒトだけではなく、豚や鳥などもかかり、人獣共通の感染症として、流行には注意が必要です。

鳥インフルエンザは、軽い症状にとどまる「低病原性鳥インフルエンザ」と、それほど頻繁に発症はしないが、呼吸器症状や消化器症状を起したり、死亡したりする「高病原性鳥インフルエンザ」とがある。現在、鳥インフルエンザと呼ばれているものは、この「高病原性鳥インフルエンザ」を指すことが多い。

鳥インフルエンザの発症は、20世紀半ばから欧州諸国、アメリカ、カナダ、アジア地域で報告されており、1983年にアメリカで1700万羽、1999年にイタリアで1300万羽と、大量の鶏、七面鳥、アヒルなどが死亡、または処分されている。2003～2004年にかけては、韓国、アジア、ベトナム、タイ、カンボジア、中国などで発生が確認され、2004年2月に京都の養鶏農場で鶏の大量死が明らかになり社会的に大きな問題となった。

鳥インフルエンザは、基本的には鶏、七面鳥、アヒルなどの家禽類を中心に感染するとされているが、家畜、ヒトへの感染も数多く報告されるようになってきた。ヒトに感染すると、発熱、咳など、一般的なインフルエンザと同様のものから多臓器不全など重症のものまでさまざまな症状が表れる。2004年のアジア地域で流行した鳥インフルエンザではベトナム、タイなどで数十名の発症例があり、その約70%が死亡している。2005年1月にもベトナムでも死者が出るなど、沈静化する見通しはたっていない。

しかし、ヒトからヒトへの感染は現在のところ非常にまれで、人への強力な感染力をもつ新型ウイルスへの変異は確認されていないことが救いである。また、世界各国で鳥インフルエンザワクチンの開発が研究されており、北海道大学では鳥インフルエンザに強い鶏の開発を手がけるなど、鳥インフルエンザへの対策を立てる研究が進められている。



参考資料:環境goo

⑤環境大臣に長野県選出の若林正俊参議員任命される

5年半続いた小泉純一郎首相退任により、第90代内閣総理大臣に任命された安部晋三氏(戦後生まれの首相誕生)によって、9月26日に組閣された内閣人事で、環境大臣に長野県選出の若林正俊氏が就任されました。

環境大臣としては8代目(5人目)となりますが、長野県選出の議員が環境大臣に任命されたのは初で、若林氏自身も初入閣となります。【若林氏は昭和58年、当時の長野1区で衆議院初当選、以降3回連続当選後、平成8年選挙で落選、平成10年参議院(長野県全区)へ鞍替え後、現在連続2回当選】(環境省は以前の名称は環境庁でしたが、組織再編により2001年環境省となりました。環境庁時代には現東京都知事・石原慎太郎氏も就任しています) 環境省とは大雑把に言うと、地球環境保全、公害の防止、廃棄物対策、自然環境の保護及び整備その他の環境の保全を図ることを任務とする省庁の事です。

◆おまけ◆

去る8月6日の長野県知事選挙により村井仁氏が知事に就任されました。田中県政を引き継いだわけですがISO14001を認証している長野県庁。環境に優しい県になるようにこれから尽力していただきたいものです。

参考資料:環境省

5. お知らせ

① ホームページを開設して7ヶ月(一般公開して6ヶ月)が経過し、アクセス数は20000カウントを越えました。ホームページを閲覧して当社のモーターに興味を持って注文して戴くケースも多くなっています。ホームページについてご意見ご感想などありましたら遠慮なく申してください。

ホームページURL

<http://www.nissei-motor.co.jp/>

ホームページ管理者メールアドレス

operate@nissei-motor.co.jp

② 会社有志による慰安旅行が11月18日～19日に予定されています。会社有志とはいえ実に6年ぶりに企画された慰安旅行となります。参加される方々は楽しみつつも気をつけて行って来てください。

③ 10月1日から、日精電機創業49期目に突入しました。社員一丸、協力してよりよい製品づくりをして参りましょう

◆次号予告◆

- ★新エネルギー「バイオマス」ってなんだろう？
- ★新・ISO14001寄稿(第2回) などなど

執筆/投稿者を募集しています!

ISO14001Newsに寄稿・投稿して下さる方を募集しています。ISO に関して聞きたいこと、言いたいこと、体験談等ありましたら環境管理事務局(担当:武者)まで文章を添えて提出して下さい。

尚、原稿用紙はお申し出いただけましたら、こちらで用意/配布させていただきます。

また、事務局から文書等の寄稿を依頼された方は快く引き受けて下さるようお願い申し上げます。



編集後記

◆実りの秋、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、秋はいろんな意味で様々な事が出来る季節でもあります。これから晩秋から冬へと季節は移り変わりますが、これも日本が四季のという季節の変化にしっかりとまっているからです。季節を感じる事は環境の変化をも感じる事が出来るという事だと思えます。春・花が咲き、夏・新緑、秋・紅葉、そして冬・落葉と木々の四季も良いものです。来る冬の前に晩秋の山々を見るのも良いでしょう。

◆今号は、作成・編集努力が足らず、6ページで力尽きました……。毎号ネタを探すのに一苦労ですが、今回はついにネタ切れか?と自分で思ってしまう様な感じでした。まだまだ継続するためにネタ探しも一層努力しなければいけないと感じました。(日刊の新聞などは、そういう点ではネタに尽きることなく紙面が埋まっているので、すごいと関心します) ⇒ 割り箸をMyお箸へ!なんてカッコイイ事を書きましたが、実際に行動に移すのはなかなか難しいものです。それでも、それを実行して初めて環境保護/保全と言えるのではないのでしょうか? みなさん、是非ご検討を。

◆先月半ばに、義姉に3人目となる子供が産まれました。製造課バランスの土屋さんも第1子誕生しました。おめでとございます。近年は少子化といわれ子供の人口が減少していますが、今年度を見ますと昨年と比較して増加傾向にあることを政府機関が発表しています。この子たちが大人になる20年後には、今ある森林地帯は減少し砂漠が広がっているかも知れません。日本でも、都市化が更に進み、田園や山並みに変化が見られ住宅や工場などが代わりに建ち並んでいるかも知れません。

環境保全活動と簡単に言いますが、今後の日本においては少子高齢化とともに環境破壊も進んでしまうのでしょうか。そんなことにならないように今できる環境保全をしていこうではありませんか。未来ある子供たちのために。

◆ 次号は、2007年新年号(1月発行予定)となります。

企画・作成・編集 : 武者 弘文(副環境管理責任者) ⑧
 発行責任者 : 中山 俊明(環境管理責任者)
 発行 : 日精電機株式会社 ISO14001 環境管理事務局